

第59回中国地区医療社会事業大会 開催要項

テーマ 頼れる支援者のいない“ひとり”を地域で支える社会へ
～医療ソーシャルワーカーが拓く地域の未来～

主 旨

現代の日本社会では、「総人口の約3人に1人が高齢者」と言われる時代に突入し、単身世帯の増加など家族構造の変化に加え、ライフスタイルも多様化しており、医療やケアを受ける際に頼れる家族等がいない人が増えています。法的な親族がいないだけでなく、家族がいても疎遠で協力が得られない、あるいは家族に患者をサポートできるだけの力が不足し支援を担えないといったケースも少なくありません。こうした状況は、入院時の保証、意思決定支援、退院後の生活基盤の確保、さらには看取りや亡くなられた後の対応に至るまで、多岐にわたる課題を医療・福祉の現場にもたらしめています。皆さんの医療機関では、家族等がいることを前提として治療・手術の同意や医療費の支払い、緊急時の連絡先を求めていますか？

医療ソーシャルワーカーは、これらの課題に向き合い、患者の生活と医療をつなぐ役割を担っています。しかし、制度の限界や地域資源の不足、多職種連携の難しさなど、個々の努力だけでは解決が難しい構造的な問題も存在します。患者が置かれている状況と地域社会や所属機関から求められていることの狭間で、ジレンマを感じている医療ソーシャルワーカーも少なくないのではないのでしょうか。今こそ、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会」をめざして、実践と制度の両面から自分たちの支援を振り返るとともに、これからの支援のあり方を模索していく必要性を強く感じています。

本大会では、身寄りのない、あるいは家族の協力を得られない患者をめぐる現状と課題を共有し、地域全体で患者を支える体制を構築するために医療ソーシャルワーカーが果たすべき役割と取り組むべき実践を学びます。また、医療・福祉・行政・地域等がどのように連携し、支援体制を構築していくのか具体的なアプローチを探り、今後の医療ソーシャルワークの方向性をともに考える場としたいと考えています。

本大会が、孤立しやすい患者を支える地域づくりの一助となり、誰もが安心して医療やケアを受けられる社会の実現に向けた一歩となることを願っています。

日 時 令和8年11月14日(土)(9:30 受付開始)～16:30

開催方法 現地とオンラインのハイブリッド形式

開催場所 海峡messe下関 国際会議場
(山口県下関市豊前田町3丁目3-1 海峡messe下関10階)

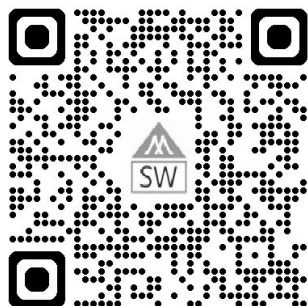
主 催 中国5県医療ソーシャルワーカー協会

大会主管 山口県医療ソーシャルワーカー協会

後援(予定) 山口県、鳥取県、岡山県、島根県、広島県、山口県医師会、山口県薬剤師会、
山口県看護協会、山口県訪問看護ステーション協議会、山口県理学療法士会、
山口県作業療法士会、山口県言語聴覚士会、山口県社会福祉士会、山口県精神保健福祉士協会、山口県介護支援専門員協会

参加費 中国5県医療ソーシャルワーカー協会員 3,000円
医療社会事業及び医療ソーシャルワークに携わる専門職 3,000円
学生 1,000円

参加申込 以下 Peatix よりお申し込みください。
※9月1日より申込開始となります。



大会日程

時 間	内 容
9：30～	受付開始
10：00～10：30	開会式 主催者挨拶 山口医療ソーシャルワーカー協会 会長 岡野大介 来賓挨拶
10：30～12：00	基調講演 講 師：山縣 然太朗先生 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター副所長) テーマ：身寄りがない人の支援および研究の最前線から（仮） ～医療ソーシャルワーカーに期待すること～
12：00～13：00	休憩
13：00～14：00	特別講演 講 師：増田 由美先生 (磐田市立総合病院 医療・福祉相談室長) テーマ：調整中
14：00～14：15	休憩
14：15～16：15	各県報告 山口県 発表者調整中 鳥取県 発表者調整中 岡山県 発表者調整中 島根県 発表者調整中 広島県 発表者調整中
16：15～16：30	閉会式 主催者挨拶 山口県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 吉田侑平 次期開催県（鳥取県）挨拶

会場案内図

海峡メッセ下関 国際会議場

(山口県下関市豊前田町3丁目3-1 海峡メッセ下関10階)



JR 新下関駅から：車で15分

JR 下関駅から：徒歩7分

バス利用の場合：バス停「豊前田」下車後、徒歩2分